

令和2年度 福島県立須賀川高等学校 「学校経営・運営ビジョン」

「校訓」

躍進 情熱 敏智



《教育目標》

国際社会の一員として、高い理想を持ち、豊かな人間性と基本的な教養を身に付けた、心身ともに健康な人間を育成します。

【育てたい生徒像】

- 自他の生命を尊重する精神を持った生徒
- 進路目標を実現するために努力する生徒
- 自己を見つめよりよく生きようとする生徒
- 地域を愛し、地域に貢献できる生徒

高い志を持って夢を叶えよ！

校長 森下 陽一郎

本校は、将来の須賀川・岩瀬地方を担う有為な人材を育てることを社会的使命として、地域に根差した教育活動に取り組み、今年創立113年目を迎えました。二万九千人を超える卒業生も学んだこの学舎で、本校の良き伝統を継承しながら新たな歴史を創造しようと、生徒たちは、勉強に、部活動に、社会的な活動に一生懸命取り組んでいます。教育は人づくりであることを再認識し、生徒一人ひとりが「高い志をもって夢を叶える」ための教育活動を全教職員が一丸となって展開しています。

生徒一人ひとりが須賀川高校生としての誇りを持ち、自分の希望する進路実現に向けて、学校生活全般において、自分で考え、判断し、自主的・主体的に行動に結びつける力を身につけられるよう、本年度の学校運営の重点目標を以下のように定め、その実現に向けて努力してまいります。

★学校経営方針 一教育目標の具現化を目指し、計画的、組織的な教育を展開します。-

- ☆ 授業の充実を図り、生徒一人ひとりの学力向上と進路実現に努めます。
- ☆ 生活指導の充実と心のケアに配慮し、健康な心と身体の育成に努めます。
- ☆ 部活動や生徒会活動を活性化し、魅力的な学校づくりに努めます。
- ☆ 地域に根差した学校として、地域との交流を推進するとともに、保護者や同窓会等との連携を図ります。
- ☆ 教員研修等を充実させ、使命感と倫理観にあふれる教職員の資質向上に努めます。

令和2年度 4つの重点目標

I 学力の向上

- 1 生徒を伸ばす授業の実践
 - 授業の工夫改善、わかる授業の実践
 - 完全授業の実施
 - アクティブラーニング、課題解決型学習の実施
- 2 進路意識の高揚と進路希望実現
 - 二者面談、三者面談等による生徒並びに保護者の進路意識の高揚
 - 「すこうドリームプラン」の推進
 - 家庭学習の定着、課外の有効活用
 - 各種検定試験の合格率向上
 - 全校体制による個別指導（小論文・面接等）
 - 朝学習の推進
 - 読書活動の推進
 - 進学希望達成率・就職内定率100%の実現
- 3 教員研修の充実
 - 授業研究の実施
 - 校外研修への積極的参加
 - 定期的な互見授業の実施

II 部活動・生徒会活動の活性化

- 1 部活動の奨励
 - 部活動加入率・継続率の向上
- 2 運動部・文化部の活性化
 - 運動部の県大会上位入賞、上位大会への出場
 - 文化部の県大会上位入賞、上位大会への出場
 - 文化部の発表する機会の確保
 - 環境整備（練習場所等の確保）
- 3 生徒会活動の活性化
 - 達成感を持たせる生徒会活動
 - ・須高生としての帰属意識の醸成
 - ・「すこう運動」への参加促進
 - ・全生徒が参加する体育祭の企画・運営
 - ・他校との交流
 - ・対外行事への参加促進

III 生活指導の充実

- 1 自己指導能力の育成
 - 「すこう運動」の推進
 - ・①できな身だしなみの徹底（服装の徹底）
 - ・②ころを磨く元気なあいさつの実践
 - ・③つくしい教室の徹底
- 2 健康教育・安全教育の充実
 - 生命や性についての指導の充実
 - ・講演会等の実施
 - 登校・下校指導（事故の絶無）
 - ・交通安全教室の実施
 - ・自転車点検、駐輪指導
 - スクール・カウンセラーやスクール・ソーシャル・ワーカーとの連携によるきめ細やかな指導
 - いじめの未然防止と早期対応
- 3 学習環境の整備
 - 環境美化の徹底
 - 施設設備の安全点検の徹底
 - 学校事故の防止

IV 地域との交流の推進

- 1 保護者との連携・協力
 - メールやwebサイトによる保護者への情報提供
 - PTA総会や各種委員会への参加促進
- 2 同窓会・地域の関係機関との連携
 - 同窓会開催行事への参加促進
 - 地元企業や商工団体、行政機関等との連携促進（インターネットの推進等）
 - 福島ハイウェイ・コスモ構造機構との連携
 - ・専門高校高度人材育成事業の活用
- 3 地域行事等への参加・協力
 - 松明あかしへの参加
 - 円谷メモリアルマラソン大会への参加・協力
 - ボランティア活動の奨励